



令和6年2月26日  
第155号 発行  
営業グループ 神谷 製造第三グループ 畑尾

先日降り積もった雪が数日経っても、工場の片隅に残っていました。熱処理工場といえども、炉から離れると暖かくないのです。それどころか、普通に寒いのです。夏は夏で苦しい思いをしますが、私はまだ暑い方がましです。子供のころ、あんなにうれしかった雪に少しもワクワクしなくなってしまいました。私もアラフィフと呼ばれる歳になってしまいました。



## シマネツ節電コツコツ運動

社内、特に工場内で人がいないのに電気が点いたままになっていることがあり社長から朝礼や会議の場で、指摘を受けることがあります。右の写真に写っている掲示物は「シマネツ節電コツコツ運動」と題した節電を促すものです。経営幹部宛にメールにて送信されている物ですが、社内を確認したところ、事務所とS-3しか掲示されていないようです。SIMCOと一緒に配布しますので是非、掲示をお願いします。普段きちんと電気を消していても、何かの拍子に忘れることもあると思います。そんな時この掲示でまた思い出すかもしれません。S-3での話ですが、派遣の堀内君は私が電気を消すように指導した日から休憩に入るときは「電気どうしますか？」と聞いてくれます。私が一緒に休憩出来ない時があるからです。私の記憶では指導した日から1度も消灯の事を忘れていないはずですが。指導した私も下手なことはできないという気になります。日々の仕事で処理条件を確認することはキチンとされていると思います。同じような姿勢で、持ち場を離れるときは消灯を確認してはどうでしょうか？



## 設備清掃

空き時間や環境整備大会を利用してS-3内の設備の清掃を行っています。右の写真は戻し炉の側面を撮影したものです。清掃前は埃や煤・油で真っ黒でした。オレンジ色の配線カバーや後部のはしごは、元の色がわからない状態でした。見違えるほどきれいになったのですが、清掃前の写真を撮っていなかったのが、みなさんには伝わりきらないだろうと思い残念です。まだ、清掃する箇所はいろいろあり、済んだ箇所も維持するように努めていきます。



〈表面担当：畑尾〉



## 安全運転

今回は、昨年に起きた県内の交通事故発生状況とスタッドレスタイヤの重要性について紹介していきたいと思います。



### 令和5年 千葉県内の交通事故発生状況

交通事故死者数は127名で、令和4年(124名)に比べ3名増加しており、交通事故(人身事故)の発生件数、負傷者数も増加しています。交通事故死者数の全国順位は、ワースト5位千葉県でした。(1位 大阪府 2位 愛知県 3位東京都 4位 北海道)

#### 交通事故発生状況

区分	累計	前年比
発生件数	13,564件	+341件
死亡事故件数	126件	+4件
死者数	127人	+3人
負傷者数	16,259人	+420人

#### 死亡事故の特徴

死亡事故の原因となった違反を見ると、最も多いのは安全運転義務違反で98件(安全不確認等47件、脇見等28件、運転操作不適当23件)、次いで信号無視9件となっています。

## スタッドレスタイヤの重要性

スタッドレスタイヤという名前は知っていても、どの様な時に必要なのか、よく分からないという人がいるのではないのでしょうか。

スタッドレスタイヤは、降雪時はもちろんですが、都心部でも路面凍結した際に安全に走行する為に重宝されています。



スタッドレスタイヤの直訳は「スタッド(鋏)がレス(ない)タイヤです。スタッドレスタイヤの出る前はスパイクタイヤと言われ、タイヤの接地面に金属製の鋏が打たれて雪道や路面凍結した道路を滑らず安全に走行出来るタイヤとして欠かせませんでした。しかし、雪や凍結の無い乾燥路では、鋏によってアスファルトが削られ、粉塵公害が発生し当時のニュースで取り上げられていました。これにより、1991年4月1日に、乾燥路での、スパイクタイヤの使用に関する法律で「スパイクタイヤ粉塵の発生防止に関する法律」が施行されました。その後、スパイクタイヤの生産・販売は減り、鋏を使わずゴムの柔らかさで雪道や凍結路を走行出来る「スタッドレスタイヤ」が登場しました。

スタッドレスタイヤと夏用タイヤでは「ゴムの質」「溝(ブロック)の構造」が違います。

	スタッドレスタイヤ	夏用タイヤ
ゴムの質	やわらかい (低温に強い)	硬い (低温に弱い)
溝の大きさ	深くて大きい	浅くて小さい
溝の深さ	新品時 (約10mm)	新品時 (約8mm)

積雪や凍結のない季節でもスタッドレスタイヤを使用する事は出来ませんが、夏用タイヤより、走る・止まる・曲がる といった運動性能が劣ります。また、質がやわらかい為、タイヤの摩擦抵抗が夏用タイヤより大きくなるので、これにより燃費が落ちてしまいます。季節に応じたタイミングで適切なタイヤに履き替えるのが良さそうですね。

(編集後記)

2月の中旬になり、気温もだいぶ上がり、日中ではジャンパーを脱いでも過ごしやすくなりました。この時期頃から花粉の飛散が気になりますね。コロナやインフル等でもマスクが手放せませんが、体調管理に気を付けて、春に向かって頑張りましょう。

販売促進グループ 神谷